DENON

AM-FM ステレオレシーバー

DRA-F107

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。

  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、☞25 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

禁止

必ず実施

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

ご使用になる前に

接続

設定

再生

タイマー設定

その他の機能

システム機能について

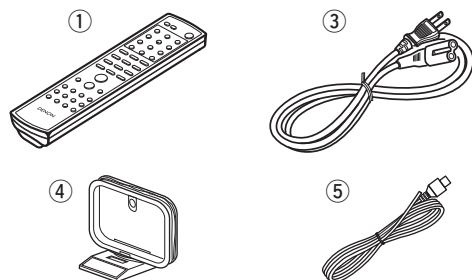
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

本体とは別に下記の付属品が入っています。
お使いになる前にご確認ください。

	数量
① リモコン（RC-1127）	1
② 単 4 形乾電池	2
③ 電源コード（長さ：約 1.5m）【本機専用】	1
④ AM ループアンテナ	1
⑤ FM アンテナ	1
⑥ 取扱説明書（本書）	1
⑦ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑧ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）	1

① ③ ④ ⑤

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

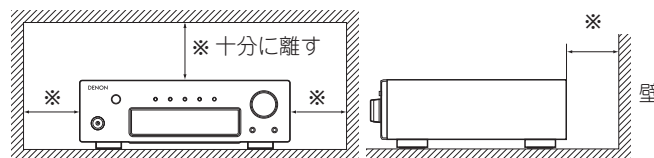
携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところで使用してください。

結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を入れたまま 1 ～ 2 時間放置してから、使用してください。

設置の際のご注意

- 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

- 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によってはしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。本機をテレビから離して設置してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

リモコンについて

リモコンでできること

❏ **本機の操作**

❏ **本機とシステム接続している機器の操作**

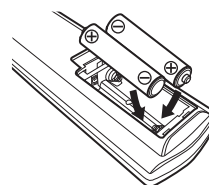
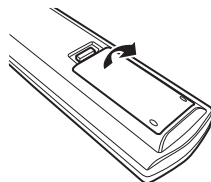
本機と次の機器（別売）をシステムケーブルで接続すると、本機が受信したリモコン信号を各機器に伝送し、機器の操作をおこないます。

- DCD-F107（CD プレーヤー）

システム接続については「システム機能について」（☞23 ページ）をご覧ください。

乾電池の入れかた

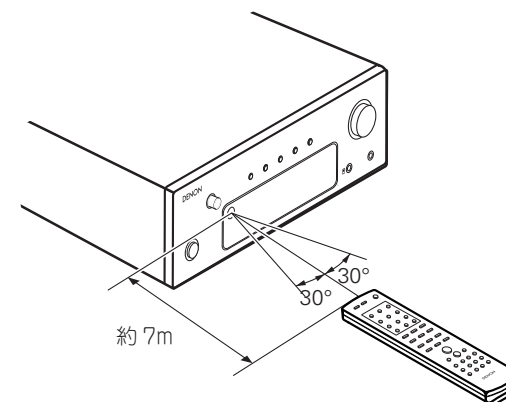
① 矢印方向に裏ぶたをずらして外す。

② 単 4 形乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。

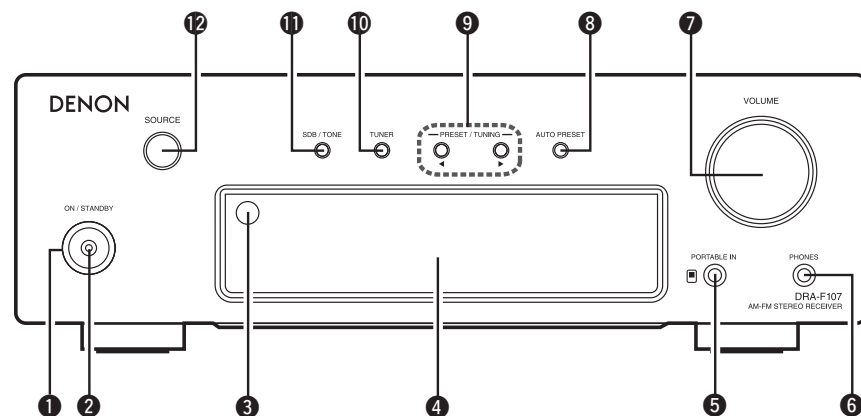
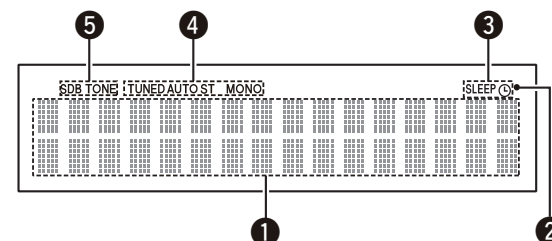
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

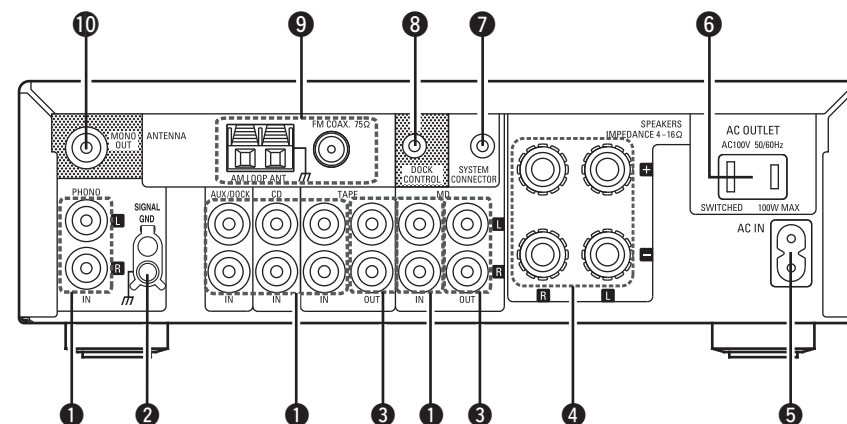
リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前

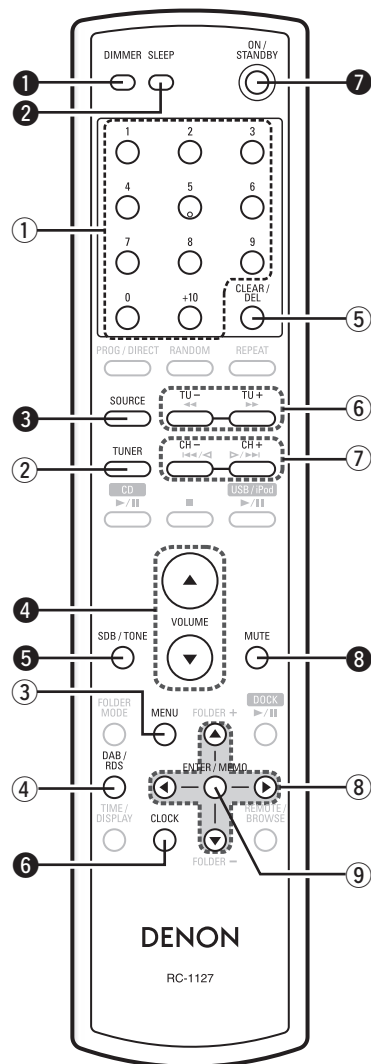
各部の詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源ボタン（ON/STANDBY）…………………(15)
❷ 電源表示…………………………………………(15)
❸ リモコン受光部……………………………………(6)
❹ ディスプレイ
❺ ポータブル入力ジャック（PORTABLE IN）…………(13)
❻ ヘッドホン端子（PHONES）…………………(15)
❼ 音量調節つまみ（VOLUME）…………………(15)
❽ オートチューナープリセットボタン（AUTO PRESET）………………………(17)
❾ プリセット / チューニングボタン（PRESET/TUNING）……………………(18)
❿ チューナーボタン（TUNER）…………………(16)
⓫ スーパーダイナミックバス / トーンコントロールボタン（SDB/TONE）…(15)
⓬ ソース切り替えつまみ（SOURCE）…………(15)

ディスプレイ

❶ インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。
❷ リモコン信号受信表示
❸ タイマー動作表示
❹ チューナー受信モード表示………………………(16)
❺ 音質表示………………………………………(15)
SDB：再スーパーダイナミックバスが“ON”のときに点灯します。
TONE：音質（低音 / 高音）を調節しているときに点灯します。

リアパネル

❶ アナログ入力端子…………………………(12、13)
❷ アース端子（SIGNAL GND）…………………(12)
❸ アナログ出力端子…………………………………(13)
❹ スピーカー端子（SPEAKERS）………………(11)
❺ AC インレット（AC IN）………………………(13)
❻ AC アウトレット（AC OUTLET）……(13、23)
❼ システム端子（SYSTEM CONNECTOR）……………………(23)
❽ ドックコントロール端子（DOCK CONTROL）………………………(12)
❾ FM/AM アンテナ端子……………………………(10)
❿ モノラル出力端子（MONO OUT）……………(11)

リモコン

本機を操作するボタン

アンプの操作

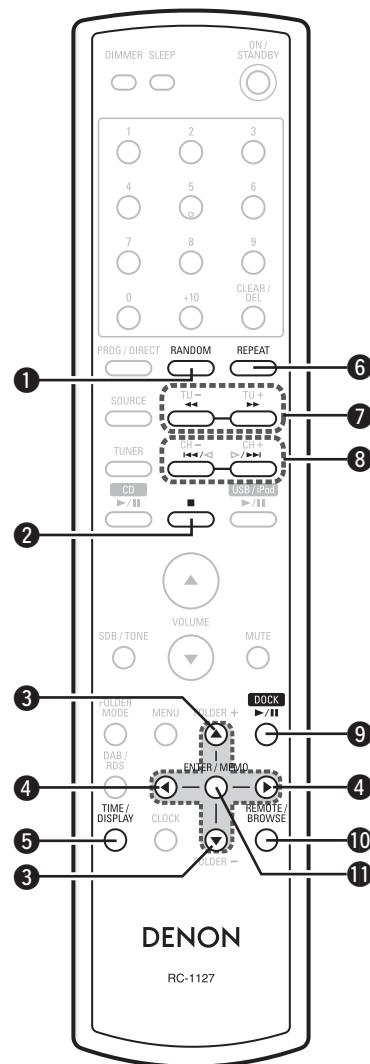
どのファンクションでも次のボタンの操作ができます。

❶ ディマーボタン（DIMMER）
❷ スリープタイマーボタン（SLEEP）
❸ ソース切り替えボタン（SOURCE）
❹ 音量調節ボタン（VOLUME）
❺ スーパーダイナミックバス/トーンコントロール切り替えボタン（SDB/TONE）
❻ クロックボタン（CLOCK）
❼ 電源ボタン（ON/STANDBY）
❽ ミュートボタン（MUTE）

チューナーの操作

ファンクションが“TUNER”のときに次のボタンの操作ができます。

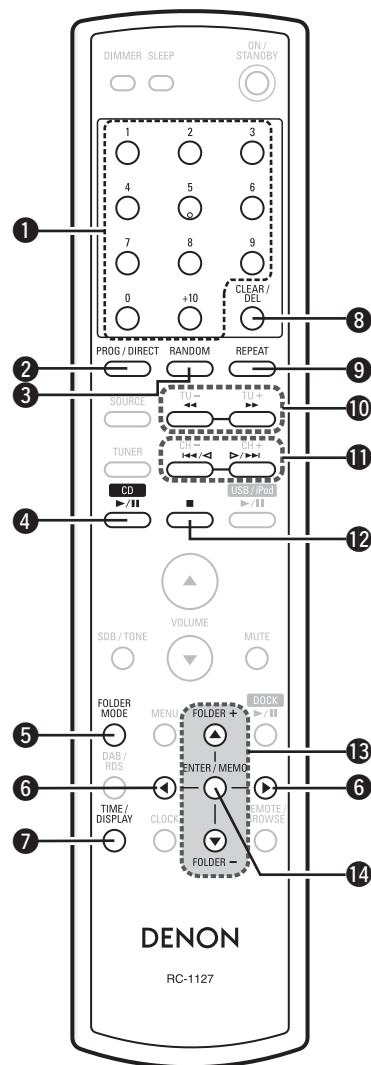
① 番号ボタン（0～9、+10）
② チューナーボタン（TUNER）
③ メニューボタン（MENU）
④ DAB/RDSボタン
海外向け製品用のボタンです。本機では動作しません。
⑤ クリアー/デリートボタン（CLEAR/DEL）
⑥ 選局ボタン（TU+/−）
⑦ プリセットチャンネルボタン（CH+/−）
⑧ カーソルボタン（△▽◁ ▷）
⑨ エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）

iPod用コントロールドック（ASD-11R，ASD-3N/3W:別売）を操作するボタン

iPod 用コントロールドックの操作

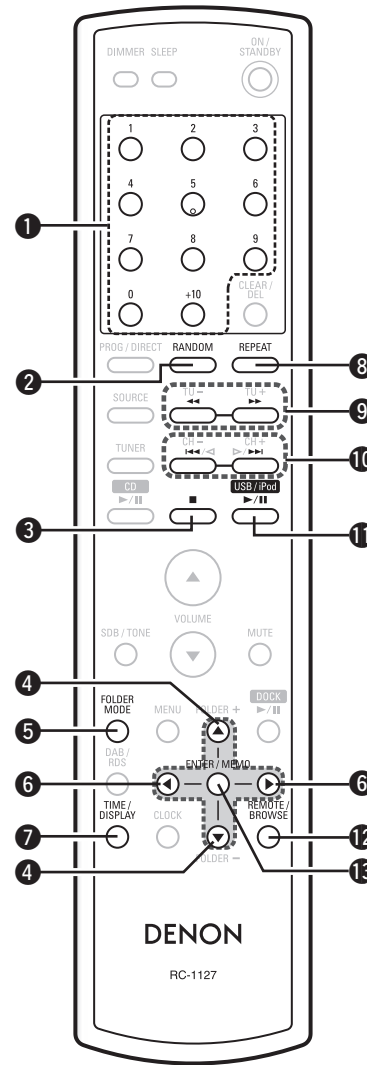
ファンクションが“iPod”のときに次のボタンの操作ができます。

❶ ランダムボタン（RANDOM）
❷ 停止ボタン
❸ カーソルボタン（△▽）
項目の選択
❹ カーソルボタン（◁ ▷）
メニュー階層の移動
❺ 表示切り替えボタン（TIME/DISPLAY）
❻ リピートボタン（REPEAT）
❼ サーチボタン（◀◀/▶▶）
❽ スキップボタン（I◀◀/▶▶I）
❾ DOCK再生/一時停止ボタン（DOCK ▶/II）
❿ リモート/ブラウズボタン（REMOTE/BROWSE）
⓫ エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）

システム接続をしている機器を操作するボタン

システム機能および操作できる機器については「システム機能について」（☞23 ページ）をご覧ください。

CD の操作

ファンクションが“CD/USB”のときに次のボタンの操作ができます。

❶ 番号ボタン（0～9、+10）
❷ プログラムボタン（PROG/DIRECT）
❸ ランダムボタン（RANDOM）
❹ CD再生/一時停止ボタン（CD ▶/❚❚）
❺ フォルダーモード切り替えボタン（FOLDER MODE）
❻ カーソルボタン（◁ ▷）
❼ 表示切り替えボタン（TIME/DISPLAY）
❽ クリアー/デリートボタン（CLEAR/DEL）
❾ リピートボタン（REPEAT）
❿ サーチボタン（◀◀/▶▶）
⓫ スキップボタン（❙◀◀/▶▶❙）
⓬ 停止ボタン（■）
⓭ フォルダー切り替えボタン（FOLDER +/－）
⓮ エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）

USB/iPod の操作

ファンクションが“CD/USB”のときに、次のボタンで、本機とシステム接続しているDCD-F107のUSB端子に接続しているUSBメモリーやiPodの操作ができます。

❶ 番号ボタン（0～9、+10）
❷ ランダムボタン（RANDOM）
❸ 停止ボタン
❹ カーソルボタン（△▽）
❺ フォルダーモード切り替えボタン（FOLDER MODE）
❻ カーソルボタン（◁ ▷）
❼ 表示切り替えボタン（TIME/DISPLAY）
❽ リピートボタン（REPEAT）
❾ サーチボタン（◀◀/▶▶）
❿ スキップボタン（❙◀◀/▶▶❙）
⓫ USB/iPod再生/一時停止ボタン（USB/iPod ▶/❚❚）
⓬ リモート/ブラウズボタン（REMOTE/BROWSE）
⓭ エンター/メモリーボタン（ENTER/MEMO）

接続

準備

システム接続については「システム機能について」（☞23 ページ）もあわせてご覧ください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

AM ループアンテナの組み立てかた

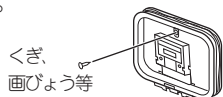
1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。

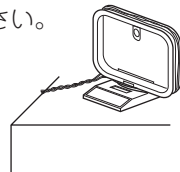
台座
角穴部
ループアンテナ
突起部

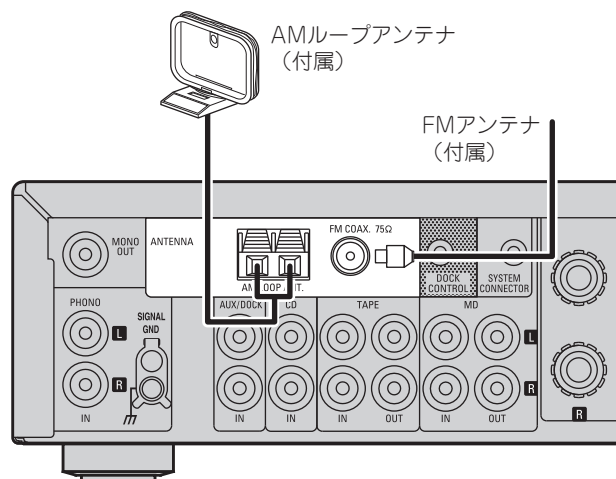
2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。

AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

組み立てずにお使いください。

置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

アンテナの接続

AM や FM の受信感度は、アンテナの設置場所や設置方向により変わります。最もよく受信できるところに設置してください。

❑ AM ループアンテナの接続をするには

1 レバーを押す。

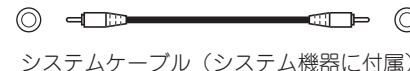
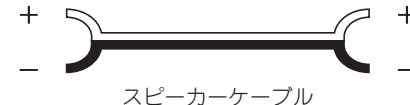
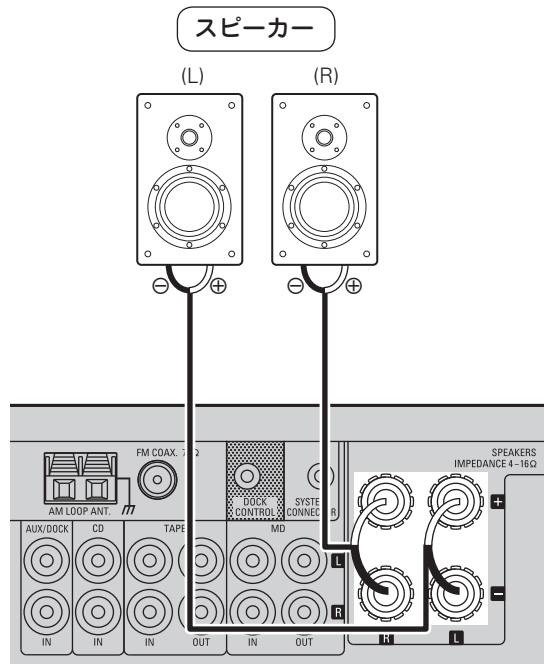
2 アンテナ線を挿入する。

3 レバーを離し、アンテナ線を固定する。

ご注意

- AM ループアンテナ線がリアパネルやネジに接触していないかご確認ください。
- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブル（別売）をご用意ください。

スピーカーの接続

SC-F107（スピーカーシステム：別売）をお使いになるときは、本機の最適化フィルターのご使用をおすすめします。
SC-F107 用の特性に調節された信号を出力します。
(☞22 ページ「便利な機能」)

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理（半田付け）をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回してしめる。

バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込む。

保護回路について

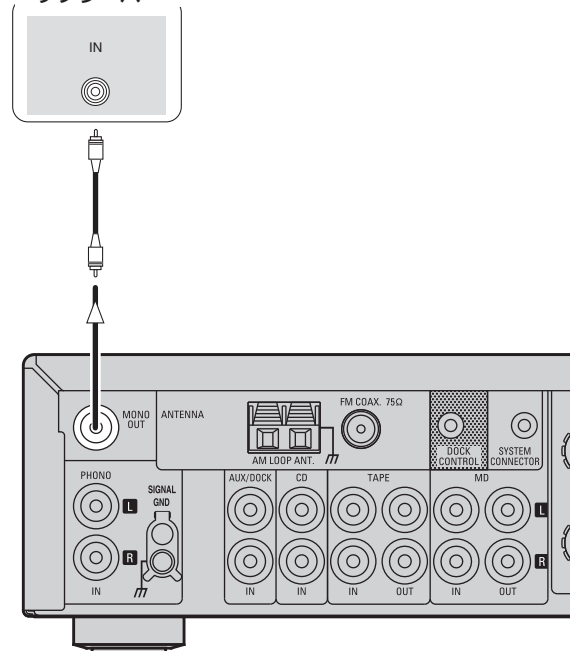
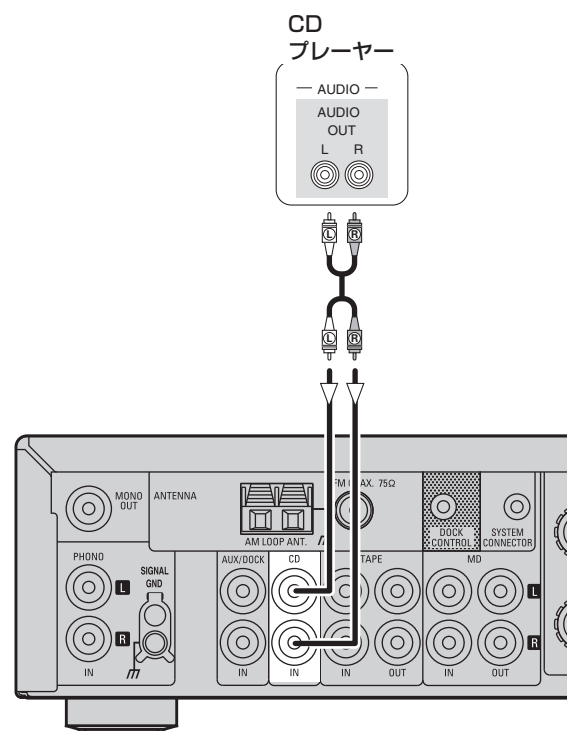
次のときに保護回路が動作します。

- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやネジに接触したり、スピーカーケーブルの+、－側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

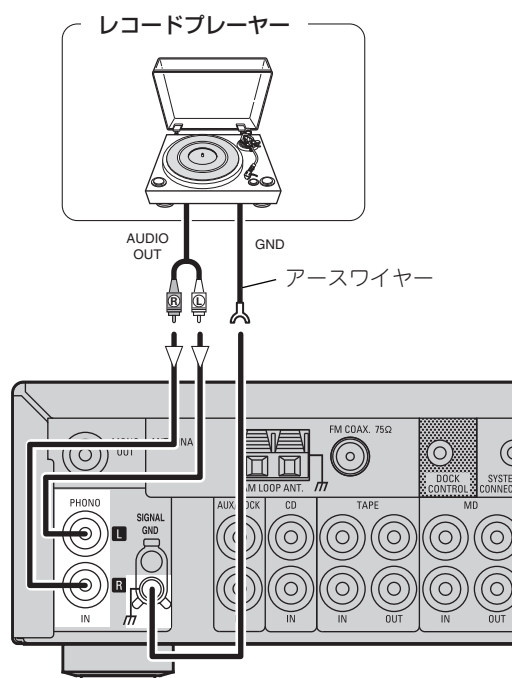
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示がオレンジ色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、もう一度電源コードを入れ直してください。
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 4 ～ 16 Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります（☞「保護回路について」）。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

サブウーハーの接続

再生機器の接続

CD プレーヤー

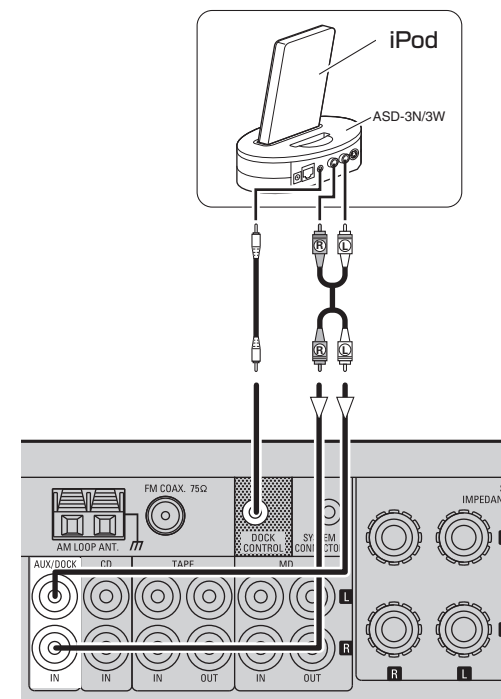
本機と DCD-F107（CD プレーヤー：別売）を接続するときは上記の接続のほかに、システム接続をおこなってください。
本機のリモコンでの操作や、各種システム機能が有効になります。
（☞23 ページ「システム機能について」）

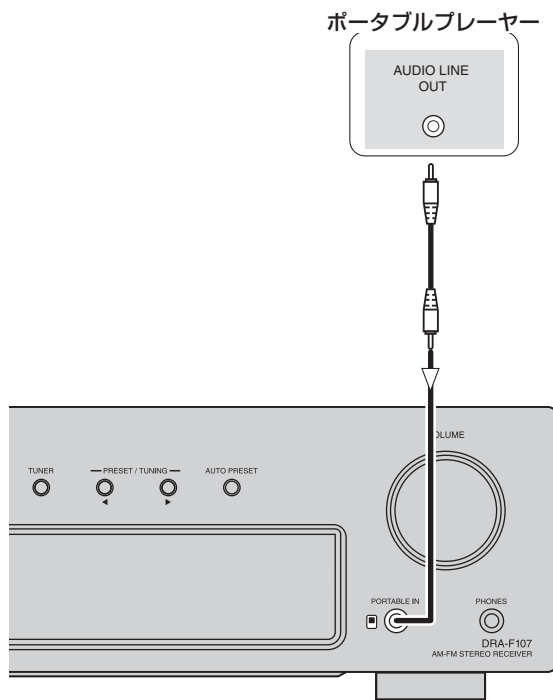
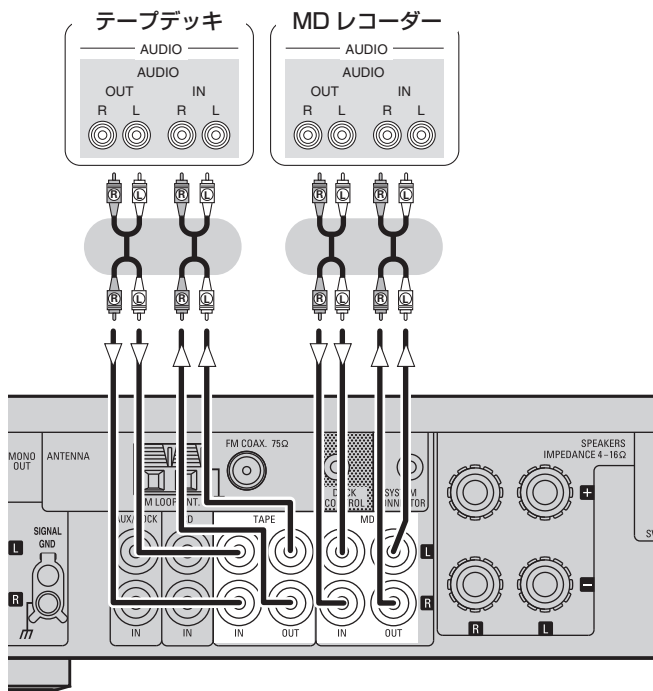
レコードプレーヤー

- 本機では MC カートリッジの再生はできません。MC カートリッジを使用するときは、市販のヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。
- レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。
  このような場合は、アースワイヤーを外してください。

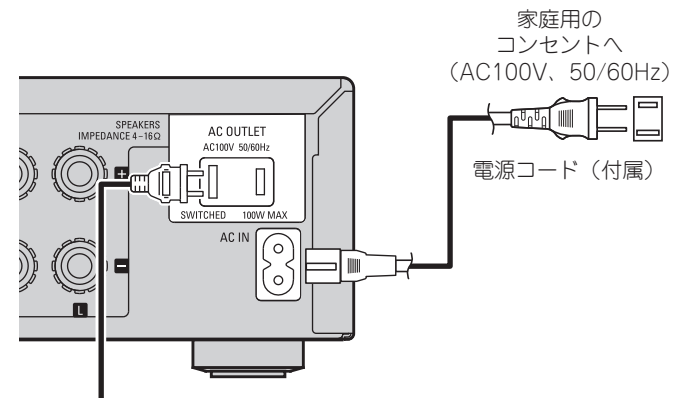
ご注意

本機の SIGNAL GND 端子は、レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

iPod® 用コントロールドック

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-11R または ASD-3N/3W、別売り）をお使いください。

- iPod 用コントロールドックを使用するときは、iPod 用コントロールドック側の設定が必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。
- iPod 用コントロールドックを接続すると、ファンクション表示が "AUX" から "iPod" になります。
- iPod を使用する場合は、「iPod® の再生」（☞18 ページ）を参照してください。

ポータブルプレーヤー

録音機器の接続

電源コードの接続

すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。

ACアウトレットへの接続について

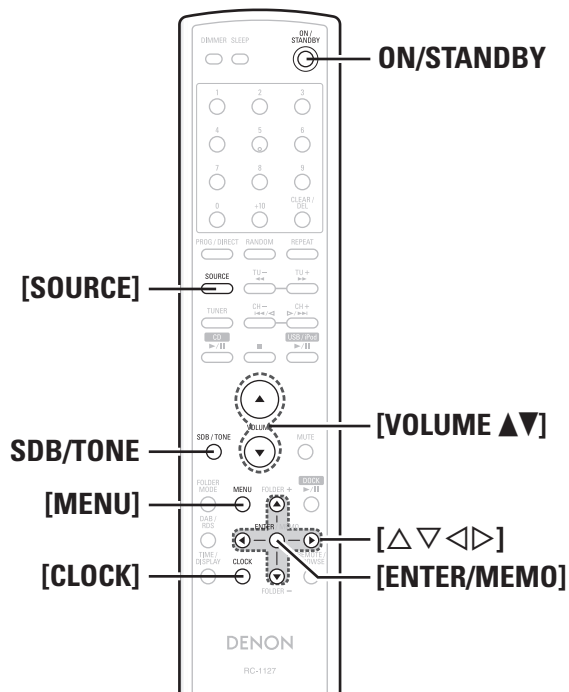
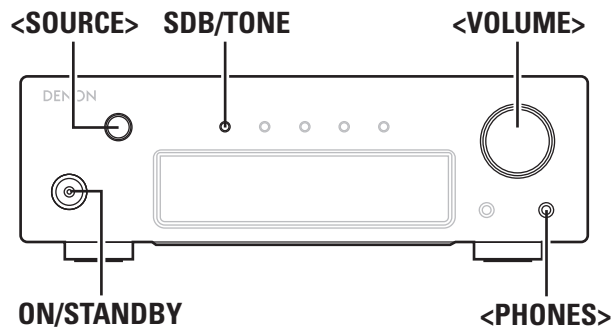
SWITCHED（容量 100W）：
本体の電源ボタンと連動して、電源が ON/OFF します。消費電力が 100W 以下の機器を接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC IN の電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。
- AC アウトレットは、オーディオ機器用です。ヘアードライヤーなどのオーディオ機器以外には使用しないでください。

接続が終わったら

電源を入れる （☞15 ページ）

設定

時刻の合わせかた（24 時間表示）

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、電源をオンにする。**

2 **[MENU] ボタンを押す。**
各種設定メニューを表示します。

3 **[△] または [▽] ボタンで“CLOCK SETUP”を選び [ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

MENU
CLOCK SETUP

4 **[△] または [▽] ボタンで“時”を設定する。**

CLOCK SETUP
00 : 00

5 **[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**
分表示が点滅します。

6 **[△] または [▽] ボタンで“分”を設定する。**

CLOCK SETUP
00 : 00

7 **[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**
現在時刻が確定し、もとの表示に戻ります。

❑ 電源がオンのときに現在時刻を確認するには
[CLOCK] ボタンを押す。
もう一度押すともとの表示に戻ります。

❑ 電源がスタンバイの時に現在時刻を確認するには
[CLOCK] ボタンを押す。
10 秒間、現在時刻を表示します。

ご注意
スタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

再生

準備

電源を入れる

ON/STANDBY ボタンを押す。

- 電源が入ります。
  もう一度押すとスタンバイ状態になります。
- 電源を入れると、前回使用していたときのファンクションになります（☞22 ページ「ラストファンクションメモリー」）。

電源表示について

スタンバイ……消灯
電源オン……緑色
タイマー設定時……オレンジ色

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

❑ 電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。

※電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。

※長期に渡り電源コードをコンセントから抜いた状態でいると、各ファンクションで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

再生中にできる操作

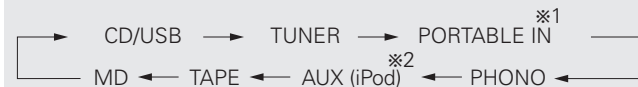
音量を調節する

<VOLUME> つまみを回すか、[VOLUME ▲ ▼] ボタンを押す。

音量を表示します。

【可変できる範囲】 00 ~ 62 , MAX

ファンクション（入力ソース）を切り替える

<SOURCE> つまみを回すか、[SOURCE] ボタンを押す。

※1 ポータブルプレーヤーを接続しているときのみ、“PORTABLE IN”を表示します。

※2 iPod 用コントロールドックを接続すると、表示が“iPod (dock)”表示になります。

ヘッドホンで聴く

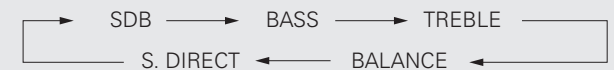
<PHONES> 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。

※自動的にスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げ過ぎないように注意してください。

音質を調節する

1 SDB/TONE ボタンで調節する音質を選ぶ。

2 [◁, ▷] ボタンで音質を調節する。

※続けて他の音質を調節するには、**SDB/TONE** ボタンを押します。

※約 5 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

SDB : 低音を強調します。
【選択できるモード】 ON OFF

BASS : 低音を調節します。
【可変できる範囲】 –8dB ~ +8dB

TREBLE : 高音を調節します。
【可変できる範囲】 –8dB ~ +8dB

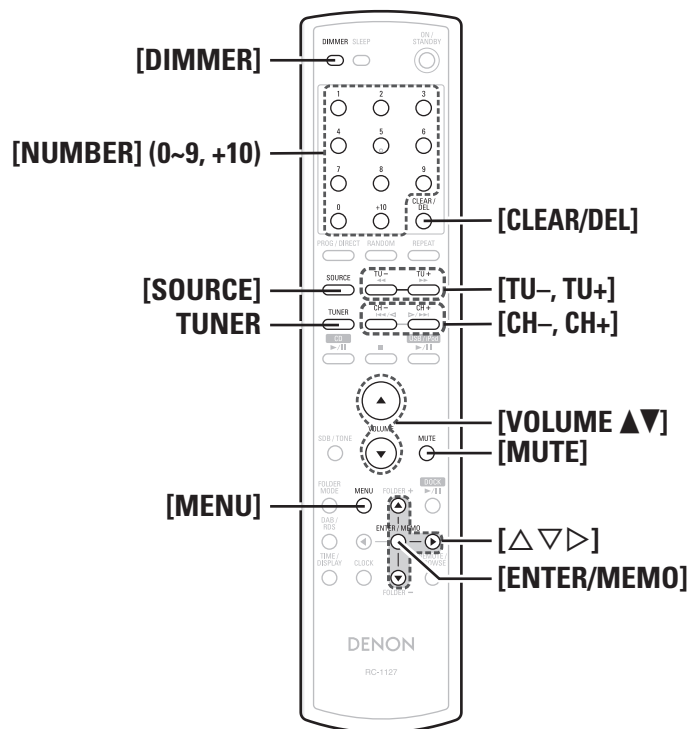
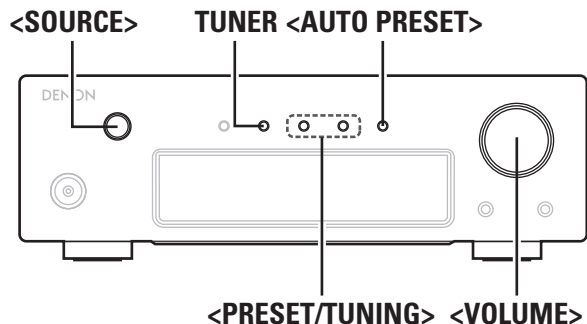
BALANCE : 左右の音量バランスを調節します。
【可変できる範囲】 +L10 ~ CENTER ~ +R10
左チャンネルを調節したいときは [◁] ボタンを、右チャンネルを調節したいときは [▷] ボタンを押します。

S.DIRECT : 音質の調節をおこないません。

お買い上げ時の設定：

- SDB……OFF
- BASS……0dB
- TREBLE……0dB
- BALANCE……CENTER

SDB と BASS は、一緒に設定できます。

再生中にできる操作

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] ボタンを押す。

“MUTE ON”を表示します。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** ボタンを押してください。
（**<VOLUME>** つまみを回すか **[VOLUME ▲▼]** ボタンを押しても解除できます。）

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] ボタンを押す。

※押すたびにディスプレイの明るさが切り替わります。

チューナーを聴く

放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください（☞10 ページ）。

1 **TUNER ボタンを押して、受信バンドを選ぶ。**

→ FM AUTO → FM MONO → AM →

【ディスプレイ表示について】

FM AUTO のとき ················“AUTO”を表示します。
FM MONO のとき ···············“MONO”を表示します。
AM のとき ···························受信モードを表示しません。

2 **[TU –, TU +] ボタンを押して、受信周波数を選ぶ。**

受信すると、“TUNED”表示が点灯します。

- ファンクションが“TUNER”以外のときに **TUNER** ボタンを押すと“TUNER”に切り替わります。
- **<SOURCE>** つまみまたは **[SOURCE]** ボタンでファンクションを“TUNER”に切り替えることもできます。

❑ オートチューニングするには

[TU –, TU +] ボタンを長押しすると、自動的に放送局を受信します。

※ただし、電波が弱い放送局は受信できません。

❑ オートチューニングを停止するには

[TU –, TU +] ボタンを押す。

❑ マニュアルチューニングするには

[TU –, TU +] ボタンを押すたびに、受信周波数が変化します。

❑ 本体の PRESET/TUNING ボタンでチューニングするには

“本体の PRESET/TUNING ボタンで操作をおこなう”（☞18 ページ）をご覧ください。

AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

FM放送の受信状態の表示について

受信バンドのモードが“FM AUTO”のときに、ステレオ放送を受信すると、“ST”表示が点灯します。

電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、受信バンドのモードを“FM MONO”にして、モノラル受信にしてください。

FM 放送局を自動的にプリセットする（オートプリセット）

最大 40 局プリセットできます。
AM 放送局はオートプリセットできません。

1 **<AUTO PRESET> ボタンを押す。**

2 **“FM AUTO PRESET” の点滅中に <AUTO PRESET> ボタンを押す。**
放送局を自動的にプリセットします。

リモコンでのオートプリセットのしかた

1 **[MENU] ボタンを押す。**

2 **[△, ▽] ボタンで “TUNER SETUP” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

3 **[△, ▽] ボタンで “FM AUTO PRESET” を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

4 **“FM AUTO PRESET” の点滅中に [ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
放送局を自動的にプリセットします。

❏ オートプリセットを途中で止めるには
TUNER または **[MENU]** ボタンを押す。

アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。

ご注意
オートプリセットをおこなうと、プリセットしてある内容が新しくプリセットした内容に上書きされます。

プリセットしたチャンネルに放送局名を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 **名前を付けるプリセットチャンネルを受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] ボタンを 2 回押す。**
ディスプレイが放送局名入力表示になります。

3 **放送局名を入力する。**
最大 8 文字まで入力できます。
- **[△, ▽]** ボタン ································ 文字を選びます。
- **[▷]** ボタン ····················· カーソルを右に移動します。
- **[CLEAR/DEL]** ボタン ····· 選択中の文字を消去します。

※入力できる文字

A ～ Z、0 ～ 9、^ ’ ( ) * + , - . / = (スペース)

4 **[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
文字の入力を確定します。

※続けてプリセットをおこなうときは、手順 1 ～ 4 をくり返してください。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

FM/AM 合わせて最大 40 局までプリセットできます。

1 **プリセットする放送局を受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
未登録プリセットの最小番号表示 “P- -” が点滅します。

3 **[NUMBER]（0 ~ 9, +10）または [CH–, CH+] ボタンでプリセットする番号を選び、[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
受信周波数と受信モードをプリセットし、ディスプレイが放送局名入力表示になります。

4 **放送局名を入力する。**
最大 8 文字まで入力できます。
- **[△, ▽]** ボタン ································ 文字を選びます。
- **[▷]** ボタン ····················· カーソルを右に移動します。
- **[CLEAR/DEL]** ボタン ····· 選択中の文字を消去します。

※入力できる文字

A ～ Z、0 ～ 9、^ ’ ( ) * + , - . / = (スペース)

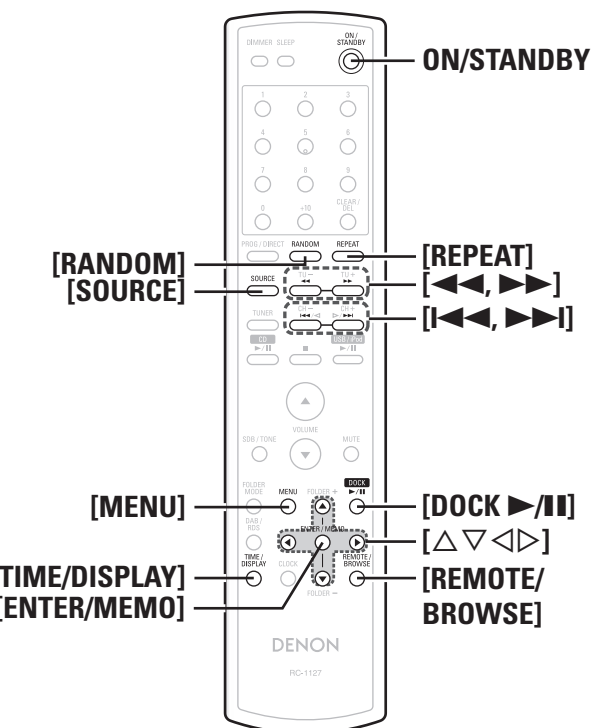
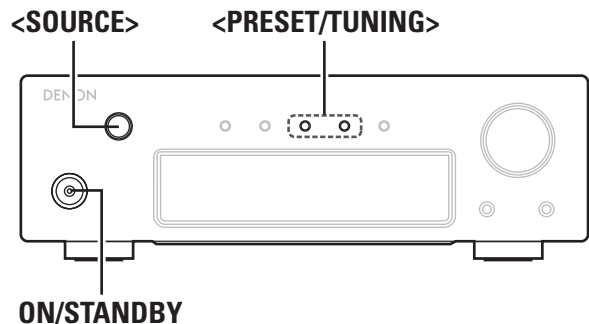
- 放送局名を入れないときは、何も入力せず **[ENTER/MEMO]** ボタンを押してください。
- 間違えて入力したときは、再度おこなってください。上書きします。

5 **[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
文字の入力を確定します。

※続けてプリセットをおこなうときは、手順 1 ～ 5 をくり返してください。

プリセットした放送局を聴く

[NUMBER]（0 ~ 9, +10）または [CH–, CH+] ボタンでプリセット番号を選ぶ。

❏ 本体の PRESET/TUNING ボタンでプリセットチャンネルを選ぶには
“本体の PRESET/TUNING ボタンで操作をおこなう”（☞18 ページ）をご覧ください。

本体の PRESET/TUNING ボタンで操作をおこなう

本体の **PRESET/TUNING** ボタンはプリセットチャンネルの切り替えとチューニングの兼用ボタンです。
操作の前に次の手順で本機を“プリセットモード”または“チューニングモード”に設定してください。

1 **[MENU]** ボタンを押す。

2 [△, ▽] ボタンで“TUNER SETUP”を選び、**[ENTER/MEMO]** または [▷] ボタンを押す。

3 [△, ▽] ボタンで“MODE SELECT”を選び、**[ENTER/MEMO]** または [▷] ボタンを押す。

4 [△, ▽] ボタンで“PRESET MODE”または“TUNING MODE”を選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
<PRESET/TUNING> ボタンが選択したモードの動作になります。

iPod® の再生

iPod 用コントロールドック（ASD-11R、ASD-3N または ASD-3W 別売）を使用すると、iPod の音楽を再生することができます。本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

Made for iPod　iPod は米国およびその他の国々で登録された Apple, Inc. の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

準備

1 DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）

2 **<SOURCE>** つまみを回すか、**[SOURCE]** ボタンを押して、“iPod”を選ぶ。

3 **[REMOTE/BROWSE]** ボタンを押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○ *
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊：ASD-11R と iPod の組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

ブラウズモード：
iPod の情報を、本機のディスプレイに表示させて操作をおこなうモードです。
このモードでは、iPod を直接操作することや、スライドショー機能の操作はおこなえません。スライドショーをおこなうときはリモートモードにしてください。

リモートモード：
iPod に表示される画面を見ながら iPod を直接操作するモードです。

再生する

1 **[△, ▽]、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンで再生する音楽ファイルを選ぶ。**

2 **[DOCK ▶/❚❚] ボタンを押す。**
再生をはじめます。

ファンクションが "iPod" 以外のときに **[DOCK ▶/❚❚]** ボタンを押すと "iPod" に切り替わり再生します（☞22 ページ「オートファンクション機能」）。

リモコンのボタンとiPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
DOCK ▶/❚❚	**▶❚❚**	再生 / 一時停止
❙◀◀, ▶▶❙	**❙◀◀, ▶▶❙**	オートサーチ（頭出し）
◀◀, ▶▶（長押し）	**❙◀◀, ▶▶❙**（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△, ▽	**Click Wheel**	カーソル上下左右
ENTER/MEMO または ▷	**Select**	設定の確定 / 再生
REMOTE/ BROWSE	—	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	—	リピート再生
RANDOM	—	ランダム再生
◁	**MENU**	メニューの呼び出し / メニューのリターン

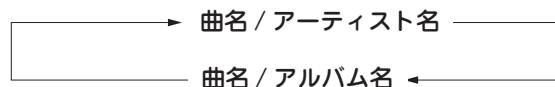
接続や操作については iPod 用コントロールドックの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機は、日本語表示に対応しておりません。

本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。
押すたびに切り替わります。

曲名 / アーティスト名 ⇄ 曲名 / アルバム名

iPod を取り外すには

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 **iPod用コントロールドックからiPodを取り外す。**

本機とシステム接続をしている DCD-F107（CD プレーヤー : 別売）での iPod の再生のしかたについては、DCD-F107 の取扱説明書をご覧ください。

録音する

外部機器での録音

あらかじめ録音したい機器を本機に接続してください（☞12、13 ページ）。

1 **<SOURCE> つまみを回すか、[SOURCE] ボタンを押して、録音したい入力ソースを選ぶ。**

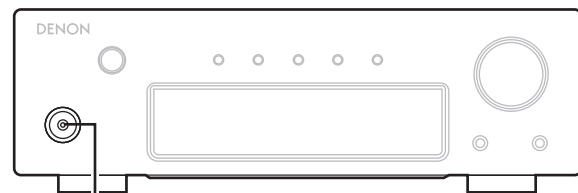
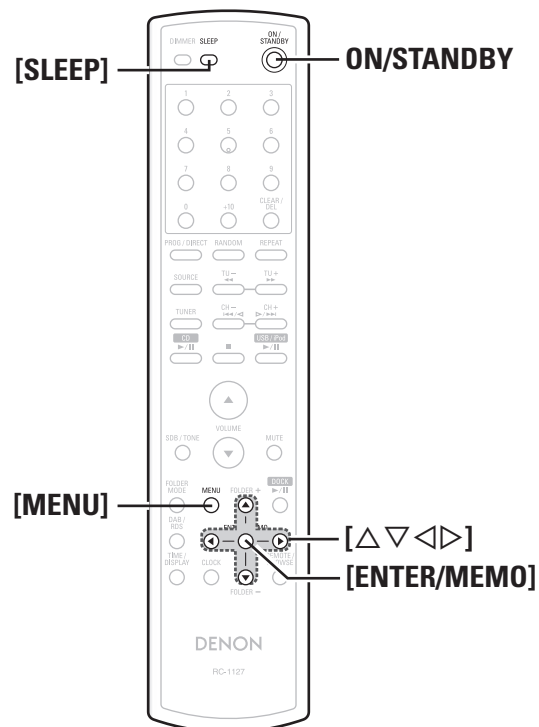
2 **録音機器を録音状態にする。**
※操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **再生機器の再生をはじめる。**
※操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- TAPE の入力信号は、TAPE の出力端子（REC）に出力しません。
- MD の入力信号は、MD の出力端子（REC）に出力しません。
- 音量や音質を調節しても、録音状態には影響がありません。

タイマー設定

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → **BUTTON**
本体のみにあるもの → **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの → **[BUTTON]**

タイマー再生

エブリディタイマー、ワンスタイマーおよびスリープタイマーのタイマー設定ができます。

タイマーの優先順位
タイマーの設定時刻の範囲が重なったときの優先順位は次の通りです。
1 スリープタイマー
2 ワンスタイマー
3 エブリディタイマー

現在時刻が未設定のときにタイマー設定モードに入ると、時刻設定モードになります。

タイマーを設定する

●**エブリディタイマー（“EVERY DAY”）**
毎日設定した時刻に、再生と終了（電源スタンバイ）をおこないます。
●**ワンスタイマー（“ONCE”）**
1 回のみ、設定した時刻に再生と終了（電源スタンバイ）をおこないます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**

2 **[△, ▽] ボタンで“TIMER SETUP”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

MENU
TIMER SETUP

3 **[△, ▽] ボタンでタイマーモードを選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

MODE SELECT
ONCE TIMER

ONCE ←→ EVERYDAY

4 **[△, ▽] ボタンでソース選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

SOURCE SELECT
CD

→ CD → TUNER → USB/iPod → AUX (DOCK)※ → TAPE → MD → HDD → TUNER>TAPE → TUNER>MD →

※“iPod 用コントロールドックを接続したときに“DOCK”を表示します。

5 **ファンクションで“TUNER”を選んだときのみ**
[△, ▽] ボタンでプリセット番号を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。

※選択したプリセット番号に名前が登録されていない場合は、プリセット番号が表示されたあとに周波数を表示します。

6 **[△, ▽] ボタンでタイマー開始時刻の“時”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

ON TIME
10:00>　00:00

7 **[△, ▽] ボタンでタイマー開始時刻の“分”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

```
ON TIME
10:30>    00:00
```

8 **[△, ▽] ボタンでタイマー終了時刻の“時”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

```
        OFF TIME
10:30>    11:00
```

9 **[△, ▽] ボタンでタイマー終了時刻の“分”を選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンを押す。**

```
        OFF TIME
10:30>    11:30
```

10 **[◁, ▷] ボタンでタイマーの“ON”または“OFF”を選び、[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**

- “ ” 表示が点灯し、タイマー設定が確定します。

```
ONCE TIMER◀ON ▶
EVERYDAY   OFF
```

- 3 秒間、タイマー設定の内容を表示します。

```
ONCE TIMER ON
EVERYDAY  ◀OFF▶
```

11 **電源をスタンバイにする。**
タイマースタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

❑ タイマーのオン / オフを設定するには

① **[MENU]** ボタンを押す。
② **[△, ▽]** ボタンで“TIMER ON/OFF”を選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
③ **[△, ▽]** ボタンで“ONCE”または“EVERY DAY”を選ぶ。
④ **[◁, ▷]** ボタンでタイマーの“ON”または“OFF”を選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。続けてタイマー設定の内容を表示します。

※“OFF”にすると、タイマー動作が無効になりますが、タイマーの設定内容はそのまま残ります。

❑ タイマー設定の内容を確認するには

① **[MENU]** ボタンを押す。
② **[△, ▽]** ボタンで“TIMER ON/OFF”を選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
③ タイマー設定の“ON”を表示したら、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
3 秒間、タイマー設定の内容を表示します。

❑ タイマー設定の内容を変更するには

「タイマーを設定する」(☞20 ページ)の操作をおこなってください。

❑ タイマー設定中に設定を変更するには

[◁] ボタンを押す。
ひとつ前の設定に戻ります。変更したい設定を表示させてから、設定をおこなってください。

❑ DENON 製 iPod 用コントロールドック(ASD-11R、ASD-3N または ASD-3W)でタイマー設定をするとき

再生したい曲を一時停止状態にして、DENON 製 iPod 用コントロールドックの電源を常にオンにしておいてください。

スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にします。10 分間隔で最大 90 分まで設定できます。

再生中に [SLEEP] ボタンを押して、設定時間を選ぶ。

→SLEEP 90→SLEEP 80→SLEEP 70→SLEEP 60→SLEEP 50
SLEEP OFF←SLEEP 10←SLEEP 20←SLEEP 30←SLEEP 40←

※約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

❑ スリープタイマーを解除するには

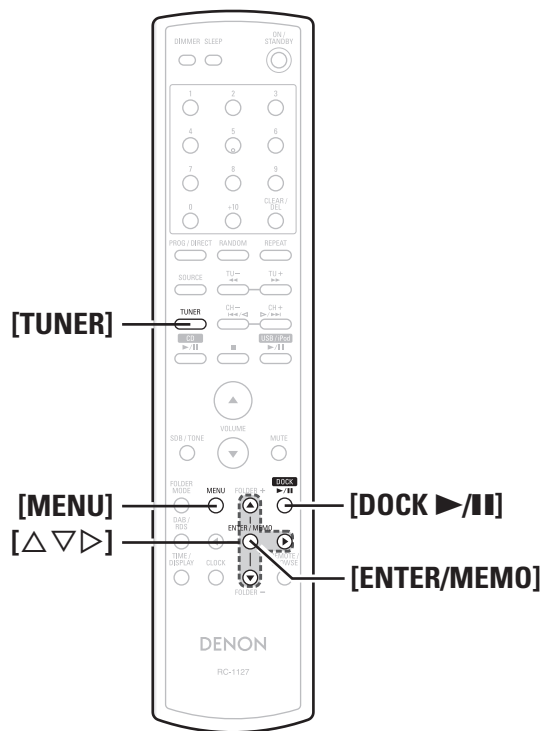
[SLEEP] ボタンを押して“SLEEP OFF”を選ぶか、**ON/STANDBY** ボタンを押す。

❑ スリープタイマーが動作するまでの時間を確認するには

[SLEEP] ボタンを押す。

その他の機能

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの ──→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ──→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ──→ **[BUTTON]**

便利な機能

スピーカーシステム SC-F107（別売）専用の最適化フィルターを設定する

本機のスピーカー出力信号特性を SC-F107 に最適になるように設定します。

1 **[MENU]** ボタンを押す。

2 **[△, ▽]** ボタンで“SPK OPTIMISE”を選び、**[ENTER/MEMO]** または **[▷]** ボタンを押す。

3 **[△, ▽]** ボタンで“ON”を選び、**[ENTER/MEMO]** または **[▷]** ボタンを押す。
設定が確定します。

オートファンクション機能

次のボタンを押すとファンクションをそれぞれのファンクションに切り替えてから、それぞれのソースの再生をはじめます。

- **[DOCK ►/❚❚]** ボタン…ファンクションが“iPod”に切り替わり、iPod を再生します。
- **[TUNER]** ボタン…………ファンクションが“TUNER”に切り替わり、最後に設定したバンドを受信します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

システム機能について

システム接続対応機器（別売）

DCD-F107（CD プレーヤー）

システム機能でできること

本機と DCD-F107（CD プレーヤー：別売）をシステム接続すると、次の操作ができます。

❑ **本機のリモコンで DCD-F107 の操作ができます。**
（☞9 ページ「システム接続をしている機器を操作するボタン」）

❑ **オートパワーオン機能**
（☞「システム機能」）

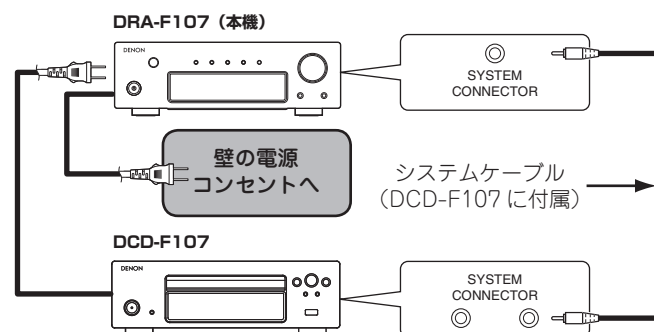
❑ **オートファンクション機能**
（☞「システム機能」）

❑ **タイマー機能**
（☞「タイマー再生」）

システム接続のしかた

オーディオケーブルの接続のほかに、システムケーブルを接続してください。
また、DCD-F107（CD プレーヤー：別売）の電源コードは、本機（DRA-F107）の AC アウトレットに接続してください。

ご注意

本機（DRA-F107）の電源コードは必ず壁の電源コンセントに差し込んでください。

システム機能

オートパワーオン機能

リモコンの CD ▶/❚❚ ボタンまたは USB/iPod ▶/❚❚ ボタン押すと、各機器の電源が入り本機のファンクションが自動的に切り替わります。

- **[CD ▶/❚❚]** ボタン ················ ディスクが入っているときは、再生をはじめます。
- **[USB/iPod ▶/❚❚]** ボタン····· USB 端子に接続しているデバイスを再生します。

ご注意

DCD-F107（CD プレーヤー：別売）のフロントパネルの再生ボタンを押してもオートパワー機能ははたらきません。

オートファンクション機能

リモコンの CD ▶/❚❚ ボタンまたは USB/iPod ▶/❚❚ ボタンを押すと、本機のファンクションが自動的に切り替わり、再生をはじめます。

- 現在再生中のソースは停止します。

タイマー機能

本機のタイマー機能を使用して、設定された時間に再生をおこなうことができます。

- 詳しくは、20 ページ「タイマー再生」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

❏ **各接続は正しいですか**
❏ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
❏ **スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
電源を入れても電源表示が点灯せず、音が出ない。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	13
電源表示は点灯するが音が出ない。	●スピーカーケーブル接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	11
	●ファンクションが再生したい入力ソースに切り替えられていない。	●正しいファンクションに切り替えてください。	15
	●音量調節つまみを絞っている。	●適当な位置まで回してください。	15
片側だけ音が出ない。	●スピーカーケーブル接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	11
	●入力ケーブルの接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	11 ～ 13
	●左右のバランスがずれている。	●左右のバランスを調節してください。	15
ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。	●スピーカーケーブルまたは入力ケーブルの接続が逆になっている。	●接続を確かめてください。	11

【レコード】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
レコード再生のときに、音量を大きくしていくと、“ワーン”という音が出る。	●プレーヤーとスピーカーの距離が近すぎる。	●できるだけ離してご使用ください。	—
	●床が柔らかく、振動しやすい。	●床を伝わってくるスピーカーの振動をクッションで吸収するようにしてご使用ください。	—

【リモコン】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗している。	●新しい乾電池と交換してください。	6
	●本体から離れすぎているか、角度が良くない。	●リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲で操作してください。	6
	●本機とリモコンの間に障害物がある。	●障害物を取り除いてください。	—
	●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。	●正しい極性でセットしてください。	6
	●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。	●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	6

【チューナー】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
FM 放送に“ザー”という雑音が入る。	●アンテナケーブルが正しく接続されていない。	●アンテナケーブルを正しく接続してください。	10
	●マイコンを搭載した電子機器などから雑音が入っている。または、受信している放送局の電波が弱い。	●機器の配置や接続ケーブル、アンテナなどの位置や向きを変えてください。	—
AM 放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	●テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。	—
		●AM ループアンテナの位置や向きを変えてください。	10
AM 放送に“ブーン”という雑音が入る。	●電源コードを伝わってくる電波によって妨害を受けている。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	—

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●ファンクションが iPod（dock）に切り替えられていない。	●ファンクションを切り替えてください。	15
	●ケーブルが正しく接続されていない。	●接続をやり直してください。	12
	●iPod 用コントロールドックの AC アダプターがコンセントに差されていない。	●iPod 用コントロールドックは、AC アダプターを差していないと本機と通信することができません。	—

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

❏ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❏ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❏ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❏ 修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑レシーバー部

定格出力：	両チャンネル駆動 65 W ＋ 65 W　（負荷 4 Ω、1 kHz、T.H.D 0.7%）
実用最大出力：	80 W ＋ 80 W　（負荷 4 Ω）
全高調波ひずみ率：	0.1 %（定格出力 － 3 dB 時、負荷 4 Ω、1 kHz）
出力端子：	スピーカー：負荷 4 ～ 16 Ω、ヘッドホン / ステレオヘッドホン適合
イコライザーアンプ出力（REC OUT 端子）：	定格出力：200 mV
入力感度 / 入力インピーダンス：	PHONO（MM）：2.5 mV/47 k Ω CD/USB、TAPE、MD、Portable In：200 mV/47 k Ω
RIAA 偏差：	PHONO： 20 Hz ～ 20 kHz ± 0.5 dB
受信周波数帯域：	FM：76 MHz ～ 108 MHz　AM：522 kHz ～ 1629 kHz
受信感度：	FM：1.5 µV/75 Ω　AM：20 µV
FM ステレオ分離度：	30dB（1 kHz）
FM SN 比：	モノラル：74 dB　ステレオ：70 dB
FM 高調波ひずみ率：	モノラル：0.3 %　ステレオ：0.4 %
SN 比：	PHONO（MM）：80 dB（入力端子短絡、入力信号 5 mV 時）
トーンコントロール：	SDB：100 Hz ＋ 10 dB BASS（低域）：100 Hz ± 8 dB TREBLE（高域）：10 kHz ± 8 dB
周波数特性：	入力 AUX、 ソースダイレクト ON：10 Hz ～ 40 kHz（＋ 0.5 dB、－ 3 dB）

❑時計 / タイマー部

時計方式：	電源周波数同期方式（月差 ± 30 秒以内）
タイマー：	エブリディタイマー / ワンスタイマー：各 1 系統 スリープタイマー：最大 90 分

❑総合

電源：	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力：	85 W（電気用品安全法による） 0.2 W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	250（幅）× 82（高さ）× 283（奥行き）mm （フット・つまみ・端子を含む）
質量：	2.6 kg

❑リモコン（RC-1127）

リモコン方式：	赤外線パルス式
乾電池：	DC3V 単 4 形乾電池２本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 24（奥行き）mm
質量：	110 g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。		
購 入 店 名：		電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日	

Printed in China　5411 10283 104D